

呉まちなか公共空間デザイン会議(第4回)の開催結果について

8月6日から15日までの間で書面開催によって開催しました呉まちなか公共空間デザイン会議(第4回)において、委員のみなさまからいただいたご意見は次のとおりです。

(書面開催における意見)

意見の要旨
<ul style="list-style-type: none">・これまでの意見を取りまとめて計画(案)を策定しており、意見はない。賑わいを生むためにも外の人を呼び込むことを念頭に取り組んでいただきたい。
<ul style="list-style-type: none">・様々な思いを持った市民が関われる計画であり、とても良いと思う。
<ul style="list-style-type: none">・今後の進め方として、取組を進めながら考えるようなフレキシビリティが必要で、現場の感覚・感性を活かして進める事が重要と感じる。
<ul style="list-style-type: none">・アクティビティとコンテンツ視点①について、猛暑日が続く中、屋外であそべる空間を確保するためにも日陰の確保は重要であると思う。・アクティビティとコンテンツ視点②について、遊び心のある仕掛けがあり、県内外、海外から足を運びたくなる空間となれば良いと思う。・社会実験や今後の運営の中で、ターゲットに応じたSNS(InstagramやX)の使い分けを行うことが重要である。また、まちなか公共空間を広報していく大使の選任なども検討してみてはどうかと思った。
<ul style="list-style-type: none">・社会実験について、楓橋の通行規制などに対する商店街側の反応も一部あると思うが、運営面などで協力できることは連携したい。・新たな運営においては、収入源の検討が必要であると思う。・まちなか公共空間を活かすためにも、商店街の中にも目的となる施設があることが望ましいと感じる。
<ul style="list-style-type: none">・社会実験に親しみやすい名前を付けることができると良いと思う。・高校生を社会実験に巻き込めると良いと思う。・パークマネージャーは計画の実現に向けて必要である。・今後、呉駅周辺、幸町地区、商店街などと連携して中央地区全体を俯瞰したまちづくりビジョンができると良いと思う。・まちなか公共空間や呉駅のまちづくりの取組を包括的に取り組める組織が組成されると良いと思う。

意見の要旨

- これからの取組がハード整備ありきではなく、既存施設を最大限活用しながら、適切な規模の投資が行われることを期待している。また、自走可能な運営スキームの構築などハードとソフトの境界なく適切な投資がされていくと良いと思う。
- 公共空間が活用され、市民がのびのび豊かに暮らし、プレーヤーが育つ環境をつくるために、手続きや使用に関する制度等について、社会実験の結果を基に検討を進めていけると良いと思う。
- 今後の展開として、堺川通りの道路空間を沿道店舗と連携して利活用するなど、商店街との連携や波及についても検証していけると良いと思う。
- パークマネージャーは今後の運営等において非常に重要で、役割やコスト、必要な体制等を見える化し、次に繋げていけると良い。
- 社会実験の取組はとても良いと思う。より多くの方に参加いただける機会となるように、運営キャスト等の募集期間を延長してみてもどうか。実際にやっている姿を見てやってみようと思う人もいると思う。
- あわせて、どんなことが出来るか、何を借りることができるか等をSNSで写真・イラストを用いながら発信してみてもどうか。
- 社会実験は、新たな利用に向けた第一歩の取組であり、利用者の意見を聞く貴重な機会であると思う。
- 多くの方がキャストとして参画し、また、来訪し、新しいまちなか空間が体感できると良いと思う。
- 社会実験のとりまとめとして、終了後に商店街事業者へのヒアリングを行い、効果や影響を検証できるとさらに良いと思う。
- 「私も参加したい」と思う市民が誰でも参加できる社会実験となっており、大変嬉しく思う。
- 社会実験に関するタブロイド等を配付し、「いつ」、「何が」、「どこで」行われているかがわかるようにすることで注目度が高まり、併せて、取組に関心を持つ方も増えると思う。
- 今後の取組として、中央地区以外の店舗等が一時的にまちなか公共空間を借用して出店できるような仕組み（ポップアップストア）があれば、市内の事業者全体にもメリットが生まれてくると思う。
- 特に意見はありません。引き続き取組を進めていけると良いと思う。